

第 45 回日本診療情報管理学会学術大会大会長
第 1 回実行委員会報告書

日 時： 2018 年 6 月 30 日（土） 9：00～10：00
場 所： 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター3F 会議室
出席者： 大会長 齊藤 正伸
委員長 副大会長 入江 真行、佐野 博之、武田 理宏
プログラム課長 橋本 昌浩
実行委員長 金子 大記
委 員 池田 健士、上田 郁奈代、奥村 峰和、大磯 清仁、金森 ひろ子
工藤 洋也、佐々木 美幸、田中 龍也、高村 松世、平位 健治、
藤田 亮平、本田 耕一郎、細井 洋子、松本 吉史、宮本 浩樹、
村原 暁子、森藤 祐史、湯浅 美智留、
顧問 川合 省三
実行事務局 島田 裕子
学会事務局 西川 幸一

以上 27 名

経 緯：

近畿病歴管理セミナーとして、第 45 回日本診療情報管理学会学術大会運営実行を担う打診が 2016 年にあり、同年 10 月に受諾審議をおこなった結果、幹事 31 名満場一致(一任含む)で受諾の意向が確定した。2017 年 3 月開催の 50 周年記念セミナーの場で、日本病院会 堺常雄前会長と日本診療情報管理学会 末永裕之理事長より今団体齋藤 正伸会長に依頼の挨拶がなされた。

これを踏まえ 2017 年 4 月学会事務局担当者と会場選定をおこない諸事確認にて、2019 年 20、21 日会期 グランフロント大阪が確定された。

近畿病歴管理セミナー幹事役員任期満了時期が重なることを鑑み 2018 年 6 月改めて大会実行委員会を立ち上げることとなった。

議 事：

金子実行委員長の進行にて、学会事務局西川氏より 7 月 13 日学会理事会にて実行委員会発足および委員構成の承認を得た後、正式な依頼状が手配される旨説明がなされた。続けて趣意書(案)および会場レイアウトについての説明後、協議をおこなった。

1. 会場費用が高額のため資金繰りに必要となる趣意書の確定が早急に望まれ、過去の実績明細および会場レイアウト図(案)の提示を学会事務局より提示いただくこととなった
 - ・ 19 日 AB ホール 900 名 972,000 円予定は、現実的な設定できなく出資企業は見つからないことが推測されることからパーテーション区切りで分割した利用が提案された
 - ・ 収容数 440 名設定においても例年の動向を踏まえた妥当性を確認する必要がある
 - ・ 提携している業者の有無、数および参加者数の過去実績が分からないと協議できないことから学会事務局の提示を待つこととなった
 - ・ 寄付金について、例年出資が厳しい状況が続いており委員の協力を求める説明が、学会事務局西川氏よりなされた
 - ・ 展示会場、クローク、受付などについて、会場レイアウトを元に予定の場所説明が学会事務局西川氏よりなされたが、参加者の導線を鑑みると展示場の設場所は厳しいのではないかとといった意見もあり、レイアウト図面(案)の提示が求められた。これについて学会事務局から会場に問い合わせいただき図面(案)を提示いただくこととなった
 - ・ 大会実行委員会および学会事務局の控室も部屋数が少ないことから、隣接するタワーを借用することも検討していたが高額のため断念している
 - ・ 会場の部屋が少ないことから学会事務局および大会運営実行委員の控室が合同になる可能性もある
 - ・ 会期前日に開催される理事会および評議員会の会場を同会場利用する予定であったが、展示搬入作業の騒音の懸念から別会場を検討していることが学会事務局西川氏より説明がなされ、隣接でなくても良いのであれば近畿病歴管理セミナー会員施設保有の会場を安価で手配することも検討する
2. 実行委員会委員役割分担について、金子実行委員長より別紙のとおり説明がなされた

以上

報告者：運営実行委員会事務局 島田